

平成29年度「岩手県ふるさと振興総合戦略」の取組状況

1 趣旨

「岩手県ふるさと振興総合戦略(計画期間:平成27年度～平成31年度)」(以下、「総合戦略」)における施策推進目標及びKPI(重要業績評価指標)について、平成29年度(計画期間3年目)の目標値に対する同年度末の達成状況を示すもの。

2 3つの施策推進目標の達成状況

岩手で働く
 <施策推進目標> 人口の社会増減(年間)
 △2,975人(H26) → 0人(H32)
 <H29実績値> △4,543人*1
 [参考]<H30実績値 △5,215人>

岩手で育てる
 <施策推進目標> 合計特殊出生率
 1.44(H26) → 1.45以上(H31)
 <H29実績値> 1.47

岩手で暮らす
 <施策推進目標> 国民所得に対する県民所得水準
 のかい離縮小(一人当たり所得水準(国=100))
 90.4(H25)**2 → 90.5以上(H31)
 <H28確報値> (未公表)
 [参考]H27確報値 89.9(一人当たり県民所得:2,760千円)

*1 職権処理修正を含めない。(職権処理を含めた場合、H29実績値 △4,496人)
 **2 総合戦略策定後、国の推計方法の変更や新規統計結果の利用などによって適宜改定されており、策定時はそれぞれ93.3(H25確報値)⇒93.4(H31)であること。

3 KPIの達成状況(総合評価)

KPI 173指標のうち、概ね達成以上(【A】及び【B】)の割合は83.8%(145指標)(昨年度 84.8%(134指標))、やや遅れ以下(【C】及び【D】)の割合は16.2%(28指標)(昨年度 15.2%(24指標))であった。

【参考】: 昨年度の達成状況
 [A] 111指標 70.3%
 [B] 23指標 14.0%
 [C] 6指標 3.8%
 [D] 18指標 11.4%

注2) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%にならない。
 注3) 総合戦略で設定しているKPI184指標のうち、実績未確定等を除いた173指標を対象としている。
 注4) 達成度の見方:【A】→「達成」(達成度100%以上)、【B】→「概ね達成」(同80%以上)、【C】→「やや遅れ」(同60%以上80%未満)、【D】→「遅れ」(同60%未満)

○ 最終目標(平成31年度)に対する進捗状況 進捗率が60%以上の指標数 126指標(72.8%)

プロジェクト	指標数		指標の割合	
	進捗率60%以上	進捗率60%未満	進捗率60%以上	進捗率60%未満
1(1) 商工業・観光産業振興、仕事創出プロジェクト	21	15	58.3%	41.7%
1(2) 農林水産業振興プロジェクト	12	7	63.2%	36.8%
1(3) ふるさと移住・定住促進プロジェクト	12	1	92.3%	7.7%
2(1) 就労・出会い・結婚・妊娠・出産まご支援プロジェクト	4	2	66.7%	33.3%
2(2) 子育て支援プロジェクト	5	0	100.0%	0.0%
3(1) 魅力あるふるさとづくりプロジェクト	17	9	65.4%	34.6%
3(2) 文化芸術・スポーツ振興プロジェクト	17	3	85.0%	15.0%
3(3) 若者・女性の活躍支援プロジェクト	6	2	75.0%	25.0%
3(4) 保健・医療・福祉充実プロジェクト	13	3	81.3%	18.8%
3(5) ふるさとの未来を担う人づくりプロジェクト	19	5	79.2%	20.8%
合計	126	47	72.8%	27.2%

4 10のプロジェクトごとの達成状況及び主な取組内容

1 岩手で働く

○ 達成度:
 概ね達成以上の割合 82.3%
 (前年度 87.0%)

2 岩手で育てる

○ 達成度:
 概ね達成以上の割合 90.9%
 (前年度 72.7%)

3 岩手で暮らす

○ 達成度:
 概ね達成以上の割合 84.0%
 (前年度 84.9%)

(1) 商工業・観光産業振興、仕事創出プロジェクト
 概ね達成以上(77.8%)(前年度 79.3%) 国際競争力の高いものづくり産業の振興(新規立地・増設件数)等
 やや遅れ以下(22.2%)(前年度 20.7%) 観光産業の振興(観光入込客数(延べ人数)、観光宿泊者数(延べ人数)(※従業員10人以上で観光目的の宿泊者の割合が50%以上の宿泊施設))[理由: 雪不足や沿岸部における冷夏、平成29年台風18号による影響等のため]等

(2) 農林水産業振興プロジェクト
 概ね達成以上(84.2%)(前年度 93.3%) 経営体の育成、新規就業者の確保・育成(新規就農者数(施設園芸)、林業技能者数、中核的漁業経営体数)等
 やや遅れ以下(15.8%)(前年度 6.7%) 生産性・市場性の高い産地の形成、6次産業化等の推進(林業算出額)[理由: 全国5位、東北1位となったが、全国的に製材品価格が伸び悩んだ影響等を受けて製材用丸太の価格が下落したため]等

(3) ふるさと移住・定住促進プロジェクト
 概ね達成以上(92.3%)(前年度 100%) 移住・交流体験の推進(県外からの移住・定住者数)等
 やや遅れ以下(7.7%)(前年度 0%) 岩手ファンの拡大と移住情報の発信強化等(求人情報発信支援補助による就職決定者数)[理由: 本県のみならず全国的な人手不足の状況(求人を出しても応募がない)のため]

(1) 就労、出会い、結婚、妊娠・出産まご支援プロジェクト
 概ね達成以上(83.3%)(前年度 66.7%) 子育てしながら働きやすい労働環境の整備(いわて子育てにやさしい企業の延べ認証数)、出会い・結婚支援の強化等
 やや遅れ以下(16.7%)(前年度 33.3%) 妊娠・出産に対する支援(不妊治療に係る治療費の延べ助成件数(男性不妊治療を含む))[理由: 不妊治療を必要とする方が年々増加傾向にあるものの、国の制度改正に伴い、平成28年4月以降、妻の年齢が43歳以上の夫婦は助成の対象外となった影響が続いているため]等

(2) 子育て支援プロジェクト
 概ね達成以上(100%)(前年度 80.0%) 子育てにやさしい環境づくり(「いわて子育て応援の店」の延べ協賛店舗数、いわて子育てにやさしい企業の延べ認証数)、保育サービス等の充実(放課後児童クラブの設置数)、子どもに対する医療の充実と子育て家庭への支援(小児医療遠隔支援システム利用回数)等

(1) 魅力あるふるさとづくりプロジェクト
 概ね達成以上(80.8%)(前年度 72.0%) 魅力あるまちづくりの推進(景観づくりに取り組む地区数)、ILC実現に向けた取組(ILC講演会等の開催回数)等
 やや遅れ以下(19.2%)(前年度 28.0%) 公共交通の利用促進(広域的なバス1路線当たりの平均乗車密度)[理由: 人口減少や少子高齢化の進展、路線廃止などによる利便性の低下などにより、利用者が減少しているため]等

(2) 文化芸術・スポーツ振興プロジェクト
 概ね達成以上(85.0%)(前年度 95.0%) 優れた文化芸術の鑑賞機会の充実(美術館入館者数、博物館入館者数)等、総合型地域スポーツクラブの育成支援(総合型地域スポーツクラブ会員数)等
 やや遅れ以下(15.0%)(前年度 5.0%) 被災地における文化芸術活動の復旧支援(活動再開に至った郷土芸能団体数)[理由: 活動用具の収納庫を整備しようとする団体への支援について、整備予定地の土地造成に不測の時間を要したことにより、補助金交付申請に至らなかったため]等

(3) 若者・女性の活躍支援プロジェクト
 概ね達成以上(87.5%)(前年度 87.5%) 若者間のネットワーク構築の促進(いわて若者交流ポータルサイト登録団体数)、女性の活躍推進のための環境づくり等
 やや遅れ以下(12.5%)(前年度 12.5%) 地域における男女共同参画の推進(男女いづれか一方の委員の数が委員総数の40%にならない審議会等の割合)[理由: 一部の審議会では改善が見られ、前年度から4ポイント改善したものの、委員の選任分野の専門人材に女性が少ないなど]等

(4) 保健・医療・福祉充実プロジェクト
 概ね達成以上(81.3%)(前年度 82.4%) 人材の確保・定着・育成(保育所における処遇改善実施率、キャリア支援員が介在し介護の職場に就職した人数)等
 やや遅れ以下(18.7%)(前年度 17.6%) 潜在有資格者や多様な人材の参入(潜在看護職員研修参加者数)[理由: 離職者届出制度の周知不足等により届出数が伸び悩んだことや、復職を希望する看護職員の都合が合わず、研修会ではなく個別でプログラムを受講したことなど]等

(5) ふるさとの未来を担う人づくりプロジェクト
 概ね達成以上(87.5%)(前年度 91.3%) 実績的な生涯を通じた学びの環境づくり(生涯学習に関する研修会等への参加者数)等
 やや遅れ以下(12.5%)(前年度 8.7%) 産学官との連携強化による若者の地元定着の促進(県内大学生等のインターンシップ参加者数)[理由: 首都圏を中心とした県外インターンシップへの参加者数が増加したことに伴い、県内インターンシップへの参加者が伸び悩んだため]等

5 今後の方向性

- 自動車・半導体関連産業の一層の集積と県内企業の新たな成長分野への参入を促進するとともに、県内企業の開発力・技術力強化や生産性の向上の支援、優れたものづくり人材の確保、育成、定着に向けた新卒者の県内就職やUターンの一層の促進に取り組む。
- 震災以降、観光客入込数の回復が遅れている沿岸地域等への重点的な誘客を図るとともに、三陸防災復興プロジェクト2019やラグビーワールドカップ2019™釜石開催などの誘客の好機を生かした観光キャンペーンなどに取り組む。
- 農林水産業における新たな担い手が参入・定着できる環境整備や農林水産業の経営体の経営力向上と規模拡大に向けた支援、県産農林水産物の6次産業化による高付加価値化やブランド化に取り組む。
- 全国的に移住・定住事業に取り組む地域が増えてきており、自治体間の競争が激化していることから、移住希望者が岩手の魅力を知り、暮らしたくなるような訴求力の高い情報発信に取り組む。

- 結婚サポートセンターによる結婚支援をはじめ、安心して妊娠・出産ができる環境を整えるため、周産期母子医療センターを中心とする総合的な周産期医療体制の充実に取り組む。

- 小児救急医療対策の充実や、地域や企業等における子育て家庭を応援する機運の醸成、就労形態の多様化に対応した多様な保育サービス等の充実などに引き続き取り組む。

- 公共交通の維持・確保と利用促進のため、広域的な幹線路線(三陸鉄道、IGRいわて銀河鉄道、バス)の支援に引き続き取り組むとともに、岩手県地域公共交通網計画の策定を進め、効率的で持続可能な地域公共交通体系の構築に取り組む。また、ラグビーワールドカップ2019™釜石開催の成功に向けて、オール岩手でスクラムを組み、開催機運の醸成とともに、交通輸送対策や防災対策など受け入れ態勢の整備を推進する。

- 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の早期の世界遺産登録に向けて、関係機関と連携を図りながら、推薦書作成等の取組を推進する。また、ラグビーワールドカップ2019™釜石開催の成功に向けて、オール岩手でスクラムを組み、開催機運の醸成とともに、交通輸送対策や防災対策など受け入れ態勢の整備を推進する。

- 男女共同参画を推進するため、「いわて女性の活躍促進連携会議」の構成団体と協力しながら、各種セミナーや企業の経営者を対象とした研修会を開催するなど、働き方に対する意識改革の取組を推進する。

- 引き続き地域の医師の確保と適正配置、質の高い医療サービス提供に向けた医療機関の機能分化と連携体制の構築に取り組むとともに、看護職員の県内定着を図るため、修学資金の貸付や県内就職支援ウェブサイトによる情報発信を通じた県外就学者のUターンの促進、離職した看護師等の届出制度等を活用した未就業看護職員の復職支援などに取り組む。

- 県内学生等の地元定着意識を醸成するため、県内学生等と県内企業との交流機会の充実や多様なインターンシップの取組強化など、高等教育機関や自治体、企業、NPO等が連携した取組を推進する。

